

社民党 ひたちなか市議会議員

井坂あきら

ニュースレター No.42

《会派所属：市民の会》

2010年 8月号

人にやさしいまちづくり

〒312-0012

ひたちなか市馬渡2917-94

TEL 029-274-3845

FAX 029-274-4088

HP <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~isaka/>

Eメール isaka-akira@kej.biglobe.ne.jp

暑中お見舞い申し上げます

6月定例議会の市政レポートの発行が遅れましたことをお詫び致します。

参議院選挙は昨年、政権交代を果たした民主党政権に対する審判という性格をもちました。政治とカネ、普天間基地移設問題で信を失い鳩山首相は辞任し、菅新首相は選挙直前に突如、「消費税の引き上げ」に言及し民主党は敗北しました。社民党にとってもきびしい選挙となりましたが、ご支援をいただいた皆さまに御礼を申し上げます。今後は、国民生活の安定と雇用状況の改革、そして経済成長へとつなげていく政策が重要であり、市政の中で全力を尽くして活動して参ります。

さて、9月定例会は9月1日に招集されます。9月は決算委員会もあり、無駄使いをいかになくしていくのか「事業仕分け」の視点を持って決算委員会に臨んでいくことが大切となってきます。

この間の不況で庶民の財布のひもは固くなり、雇用も依然として厳しいなかで市民生活が苦しくなってきました。一方、法人税の大きな落ち込みによってひたちなか市も不交付団体に陥りました。再び交付団体になったことにより、今後、市の財政上どのような影響が出てくるのか明らかにしていくことも課題となります。

西原長砂線開通 (7/20)



安全な登校路、買い物にも便利に

「食育講演会」が 開催されます

日時 8月20日(金) 14時～

場所 ひたちなか市文化会館

大ホール

内容 竹下和男(前香川県綾上町立
綾上中学校校長)

テーマ 台所に立つ子どもたち
～食を通した子育て親育ち～

主催 ひたちなか市 参加費無料

井坂議員は9月議会においても財政や道路行政など一般質問を行います。一般質問は9月8～9日に行われます。こういう問題を取り上げてほしいというご意見や要望等ありましたらご連絡下さい。また、傍聴にもお出かけ下さい。

6月定例会の報告 食育・公民館で議論

6月議会では①子ども手当について ②「弁当の日」について ③公民館について ④ゴミのカラス対策について取りあげました。今回は紙面の関係で②と③について報告します。

(1) 「弁当の日」について

「子どもがつくる弁当の日を実施します」。すべてはその言葉からはじまった。

四国の小さな町の小学校で校長をしていた竹下和男校長がPTA総会でそう宣言した。2001年のことである。

…そのようなことから始まった「弁当の日」。総会に出席していた母親たちからブーイングが起こった。事前に教師たちに提案したときも冷ややかな反応だった。「子どもが包丁や火を使って、事故でも起きたら一大事だ」「共働きの母親の負担が増える」「弁当づくりのために早起きするなんて無理。勉強にも差し障る」。親も教師も、「校長が面倒なことをいいたぞ、という顔だ。歓迎されない空気が漂っていた。」「弁当の日」に取り組むのは五、六年生。家庭科の授業で基礎的な知識や技術を学んだあと、月に一回、合計五回実施する。献立決め、食材買出し、調理、弁当箱つめ、片づけ、すべてを子供だけで行う。「親は手伝わなくてください」

そう伝えると保護者席からは少しだけ安堵の声がもれた。…

(鎌田 實 著「空気は読まない」－「弁当の日」の奇跡 より冒頭部分を引用)

●井坂議員

「弁当の日」とは、香川県綾南町立滝宮小学校の竹下和男校長が実践した試みでありますけれども、5月に「弁当の日」というテーマで食育講演会(JA主催)が開催された。私は、子どもが元気になり自発性が高まるなど素晴らしい効果があると受け止めたのですが、市長はどのように受け止めたでしょうか、所感を伺う。二点目は、食育の現状と地産地消の状況について伺います。



学校給食

◆本間市長

私も竹下先生の話聞くまでは、てっきり給食に代えて親が弁当を作る日かなと思いましたが、子どもが一人で作る弁当というようなことで親子の関係が見直されたり、学校やひいては地域も変わるということに至った話をお聞きしまして、私も驚いた次第です。朝早くおきて弁当を作ることによって親もいろんなことに気づき、子どもに対する食育というよりもそれを超えてややもすると希薄となりがちな現代の家庭生活における親と子どもの絆、基本となる生活習慣や規律なども改めて再認識する契機となった感動的な取り組みと感じました。この試みも本市において実践してはどうかという思いを持ちました。8月20日に予定しております市主催の食育講演会に、もう一度竹下先生をお呼びして学校の先生方や子育て世代を中心に市民の皆様聞いてほしい。

◆木村教育次長

学校給食における地産産の使用割合は7割で、そのうち市内産は4割となっております。

地元産の食材使用に関しましてはJAひたちなか、生産農家、学校関係者が連携して生産者の顔が見える安心安全な農産物を47品目を納入しています。子どもたちは、校内放送による献立の紹介を毎日行っております。親しみがわいて、食べ残すことがなくなっている傾向にある。

(2) 公民館利用について

今日、地域における交流、音楽のまちづくりや文化の香るまちをつくることにおいて公民館活動の果たす役割は大きい。公民館の利用に際して市民の声をもとに質問します。団体が公民館を借りるために申請をする、解りやすくいえば予約をしますね。これが1ヶ月前までしかできないのです。これでは、行事の計画をするに当たって計画が立てづらいということです。これを緩和して2ヶ月前にして欲しいという要望が出されていますが、考えを伺う。

◆木村教育次長

公民館の利用団体の申請受付については、運用上利用日の1ヶ月前から当日まで申請できるようにしております。現在公民館には903団体が登録されており申請時期については利用団体が1ヶ月前に申請することが浸透しており公民館自体には苦情は出ていない。「2ヶ月前から受付を出来るようにしろ」とのことは、市主催の事業や会議があり支障が出るので現行のままでいく。

●井坂議員

利用者は、仕事を持っている人も多い。看護師や鉄道員などは1ヶ月前に勤務シフトを出さなければなりません。今日は6月11日です。今日申請するとして、7月10日までしかとれず、7月後半は計画が立ちません。だから2ヶ月前に緩和して欲しいと言っているのです。

◆木村教育次長

その件では公民館を利用されている方から、苦情は寄せられておりません。

●井坂議員

では、もう一つ聞きましょう。申請1ヶ月前というのは何に基づいているのでしょうか。条例で定めているのですか。

◆木村教育次長

運用で定めている。

●井坂議員

先ほどの「苦情はない」との答弁ですが、私は要望を言っているのであり、苦情とは言っていません。利用者から要望として公民館職員に言っていますよ。聞いていないなんてあり得ない。また、運用で決めているのであれば、もっと融通は利くんじゃないですか。

◆木村教育次長

市の事業とか料金問題も関わりますけれども、様々な障害が出ますので現行通りでいく。

●井坂議員

市の行事がどうのこうのといいますが、市は年間行事で年度当初に決めているはずで突発的に会議が入ることは少ないはず。市民が借りたいことを制限する現状でいいのでしょうか。市民へのサービスが大事なのです。市長が言う「自立と協働のまちづくり」では市民の力もお借りしてまちづくりをするんでしょう。公民館はその拠点ではないですか。もっと前向きに検討すべきですよ。早急に運用の改革を検討されたい。

◆木村教育次長

現行で行くのでご理解を。

(これ以上追及しても堂々めぐりになるので切り上げました。)

文教福祉委員会 所管調査

7月15日、文教福祉委員会所管調査がありました。学校耐震化の進捗状況、学童クラブの現状報告をいただき議論しました。その後高野小と中根小の施設を視察をしました。

文科省が7月21日発表した小中学校の耐震化率は全国平均73.3%でしたが、茨城県は55%と45位。ひたちなか市は40%台でさらに低い状況にあり、耐震化が進まない理由として財政が厳しいことが背景にあります。耐震化の基準は震度6の地震に耐えられるものです。本市の過去の地震の大きいものは震度5強であるといえます。早急な改善が必要です。

また、高野小と中根小では学童クラブとトイレの改修状況を視察。学童クラブについては「校庭などで遊ぶ際、グラウンドの凸凹による怪我が起きないか、安全な対処はされているか」と質問した。



(阿字ヶ浦海水浴場)

(くじらの大ちゃんの平磯海水浴場)

◆編集後記.....

6月中・下旬にしょうぶ園は多くみなさまに美しさと感動を与えてくれました。地元の皆さまの接待やきれいになったトイレ、ゆるやかなスロープ、改修された木道など好評でした。北側の開花がいまひとつだったと言います。環境に配慮した整備が今後求められます。

人にやさしいまちづくりを
皆さまのご意見、ご要望をお聞かせ下さい。連絡は下記へ
FAX 029-274-4088
Eメール isaka-akira@kej.biglobe.ne.jp